

2 年頭の御挨拶

特集1 4 県政この一年

特集2 6 県職員の給与の状況

特集3 8 第五回沖縄平和賞

10 比べてわかるみんなのシゴト白書 IT・通信に携わるシゴト

12 県のうごき1 おきなわ花と食のフェスティバル2011

13 県のうごき2 沖縄MICEって何ですか？

14 情報ひろば お知らせ

16 つながる広がる 人・モノ・文化 地域物語 結いの島のシマおこし

年頭の御挨拶

新年おめでとうございます。

県民の皆様におかれましては、気持ちも新たに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は昨年の選挙におきまして、県民の皆様から負託を受け、引き続き県政の舵取りをさせていただくことになりました。これまでも増して、県勢の発展に全力で取り組んでまいり決意です。

私は、我々の子や孫たちが「独立自尊の精神」を持って、未来に堂々と踏み出していけるよう道筋をしつかりと示すことが私の責務だと考えており、「平和」「未来」「くらし」「子や孫」を第一に考えて、県政の運営に当たりたいと考えております。

沖縄県には依然として、過重な基地負担、全国より高い失業率等、解決すべき諸課題が山積しております。このような状況の中、昨年は、若い世代の活躍が県民に大きな喜びと自信を与えてくれました。

競技はもとより大会運営まで高校生が主役となり、大会を支えてくれた「全国高等学校総合体育大会 美ら島沖縄総体2010」。磨き抜かれた技術と強い精神力で、甲子園大会春夏連覇を成し遂げた興南高校野球部。女子プロゴルフにおける、宮里藍選手をはじめとする県出身選手のめざましい活躍。

いつの日かと思い描いた県民の夢が、一つ一つ実現されていくことは本当にうれしいことであり、次代を担う若い力を

わる新たな沖縄振興の枠組みを構築することが喫緊の課題であり、沖縄政策協議会等を通して政府と協議し、今後の沖縄振興を支える体制の整備、確立を目指します。

あわせて、地域の主体的な取組を支えるより自由度の高い財源として、「沖縄振興一括交付金(仮称)」の創設も引き続き求めてまいります。

県政の重要課題であります米軍基地問題につきましては、過重な基地負担の大幅な軽減と、日米共同発表を見直して普天間飛行場を県外へ移設することを強く要求してまいります。

また、今年も沖縄の魅力あふれる多くのイベントが予定されております。とりわけ、五年ぶりの開催となる「第五回世界のウチナーンチュ大会」は、世代を超えて受け継がれてきたウチナーンチュのきずなを確かめ合う場になることと思ひます。世界各地のウチナーンチュの御参加を、心からお待ち申し上げます。

平成二十三年、豊かで住みよい平和な美ら島沖縄を目指し、

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

*

沖縄県広報雑誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課ホームページでご覧になれます。

沖縄県知事公室広報課
TEL.098-866-2020
<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>



沖縄県知事 仲井眞 弘多

沖縄県が抱える諸問題の解決にチャレンジし続けてまいります。県民の皆様におかれましては、引き続き御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

県民の皆様にとりまして実り多い年になりますよう祈念しまして、新年の御挨拶といたします。

平成二十三年一月一日

とても頼もしく感じております。

また、十一月には、沖縄の組踊が国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産として登録されました。沖縄の宝が世界の宝と認定されたものであり、沖縄の伝統文化を継承発展させていく上で、大変意義深いことであります。

さて、今年は日本復帰から四十周年を目前に、沖縄県にとりまして重要な年になると考えております。

昨年、県では、県民の皆様と共に、将来のあるべき沖縄の姿を描いた「沖縄21世紀ビジョン」を策定しました。今年は、その実現を目指して歩み出します。

平成二十三年度で終期を迎える沖縄振興特別措置法に代

県政この一年

昨年の沖縄県は「美ら島沖縄総体2010」の開催や興南高校野球部が甲子園春夏連覇を果たすなど、高校生の活躍に県全体が大いに盛り上がりました。

一方、「米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し、国外・県外移設を求める県民大会」が開催されるなど、改めて沖縄の米軍基地問題が注目されました。

また、沖縄県初の長期構想「沖縄21世紀ビジョン」が策定されるなど、節目となった一年でもありました。



10/15 沖縄平和賞授賞式が名護市の万国津梁館で行われ、アジア・アフリカを中心に、プライマリ・ヘルス・ケアのアプローチに基づいて活動を行う「シェア=国際保健協力市会の会」が受賞しました。



10/29 名護市の万国津梁館で開催されたAPEC電気通信・情報産業大臣会合を前に、知事主催の歓迎レセプションが恩納村内のホテルで開かれました。



12/10 11月28日の沖縄県知事選挙で再選された仲井眞知事が2期目の初登庁をしました。



7/28 「美ら島沖縄総体2010」が8月20日までの日程で開催され、約36,000人の選手・監督・コーチらが参加しました。



9/13 県庁講堂で沖縄県県民栄誉表彰式が行われ、仲井眞知事は史上6校目の甲子園春夏連覇を果たした興南高校野球部に対し、表彰状と記念品を手渡しました。



9/21 仲井眞知事は、台風11号による被害状況調査のため石垣島を訪れ、法面崩壊が発生した野底林道などを視察しました。



7/12 今年10月に開催される第5回世界のウチナーンチュ大会に向けて、準備業務などを担当する大会事務局を設置しました。



7/20 みんなでグッジョブ運動(沖縄県産業・雇用拡大県民運動)推進大会が浦添市の国立劇場おきなわで行われ、県内の児童・生徒、教育関係者、企業関係者など約600人が出席しました。



7/27 皇太子殿下は、7月27日～29日、平成22年度全国高等学校総合体育大会(美ら島沖縄総体2010)へのご臨場、地方事情をご視察のため、ご来県されました。



4/25 「米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し、国外・県外移設を求める県民大会」が行われました。



5/24 口蹄疫の感染が宮崎県内で拡大していたことを受け、県では仲井眞知事を本部長とする沖縄県口蹄疫防疫対策本部を設置し、同本部会議が県庁で開催されました。



6/23 糸満市摩文仁の平和祈念公園で、平成22年沖縄全戦没者追悼式が行われました。



2/2 沖縄県振興審議会の平啓介会長は県庁を訪ね、沖縄21世紀ビジョンについて仲井眞知事に答申しました。



3/6 街中に音楽があふれだす! 沖縄国際アジア音楽祭～musix2010～がこの日のオープニングステージを皮切りに開幕しました。



3/23 仲井眞知事は、県が不発弾探査事業で発注した八重瀬町字宜次地内の現場を視察しました。

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
13日 10日 面談 内閣官房副長官 福山哲郎氏 瀧野欣彌氏	28日 26日 5日 3日 1日 表敬 APEC事務局長 ムハマド・ヌール・ヤコフ氏 平成二十二年秋の叙勲伝達式 離島フェア2010(二十八日) 沖縄県知事選挙	29日 27日 22日 18日 16日 15日 2日 面談 沖縄担当大臣 馬淵澄夫氏 第五回沖縄平和賞授賞式 2010全国エイサー大会(十七日) 飲酒運転根絶県民大会 第三十四回沖縄の産業まつり(二十四日) 奄美地方における集中豪雨被害に対する知事見舞金の贈呈 APEC電気通信・情報産業大臣会合沖縄県知事主催 歓迎レセプション	22日 21日 20日 13日 3日 1日 企業誘致セミナー(東京・大阪)(二日) 沖縄県総合防災訓練 県民栄誉表彰式 興南高校野球部 新百歳長寿者慶祝訪問 台風11号被害状況視察 県不発弾保管庫等視察	29日 18日 13日 11日 面談 内閣官房副長官 福山哲郎氏 瀧野欣彌氏 行政視察(北谷町、うるま市) 中国出張(沖縄観光PRなど)(二十一日) 第四十六回沖縄県身体障害者スポーツ大会	28日 27日 20日 12日 12日 沖縄県産業・雇用拡大県民運動推進功労者表彰式 第五回世界のウチナーンチュ大会事務局看板設置式 平成二十二年秋の叙勲伝達式 グッジョブ運動推進大会 皇太子殿下ご来県(二十九日) 美ら島沖縄総体2010総会開会式	23日 18日 8日 7日 2日 1日 面談 ゴールデンキングス ※シーズン終了報告 日本赤十字社沖縄県支部三施設合同移転式典 東村高江区代議員との意見交換会 関係機関への学卒求人に係る要請 表敬 駐日米国外務大臣 ジョン・V・ルース氏 平成二十二年沖縄全戦没者追悼式	24日 23日 7日 4日 面談 内閣総理大臣 鳩山由紀夫氏 平成二十二年春の叙勲伝達式 面談 内閣総理大臣 鳩山由紀夫氏 沖縄県口蹄疫防疫対策本部会議	28日 25日 15日 1日 1日 上原副知事辞令交付式 割愛採用および宮利法人派遣職員辞令交付式 定期人事異動に伴う辞令交付式 知事特別表彰(児童生徒等特別表彰 興南高校) 米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し、国外・県外移設を求める県民大会 平成二十二年度県・市町村行政連絡会議	31日 31日 28日 26日 24日 23日 17日 6日 4日 第二十三回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント プロアマ大会 沖縄国際アジア音楽祭 musix2010 開幕! 面談 衆議院安全保障委員会 不発弾磁気探査現場視察 第二回沖縄国際映画祭開幕 かりゆしウエア着用キャンペーン 沖縄科学技術大学院大学新研究施設開設記念式典 面談 衆議院外務委員会 仲里副知事退職辞令交付式	26日 20日 6日 2日 面談 内閣官房副長官 平野博文氏 感謝状贈呈 中琉文化経済協会理事長 蔡雪泥氏	25日 19日 9日 4日 面談 内閣官房副長官 平野博文氏 新規学卒者採用枠拡大に係る事業所への協力要請 2010プロ野球春季沖縄キャンプ球団旗 歓迎バナー掲揚式

⑥ 職員の平均給与月額、平均年齢の状況

(平成22年4月現在)

	給料	手当	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	312,700円	+ 45,614円	= 358,314円	41歳11月
現業職	327,700円	+ 46,474円	= 374,174円	50歳1月
高等学校教育職	352,200円	+ 49,043円	= 401,243円	41歳8月
小・中学校教育職	364,000円	+ 48,674円	= 412,674円	43歳11月
警察職	317,200円	+ 107,925円	= 425,125円	39歳7月

※平均給与月額は、平成22年4月分の給料と諸手当(扶養手当、時間外勤務手当など)の合計を平均したもので、特例減額措置を受けた後の額です。

⑦ 職員の手当の状況

(平成22年4月1日現在)

		区 分	支給内容		国の制度	
期末・勤勉 手当		期末手当		2.75月分	2.75月分	
		勤勉手当		1.4月分	1.4月分	
		計		4.15月分	4.15月分	
		平成21年度平均支給額		1,507,235 円	－	
		区 分	自己都合	勤奨・定年	国の制度	
退職手当		支給率	勤続25年	33.50月分	41.34月分	同
			勤続35年	47.50月分	59.28月分	
			最高限度倍率	59.28月分	59.28月分	
		平成21年度平均支給額		6,711,584円	26,721,654円	－
		内 容	手当額(月額)		国の制度	
主要三 手当	扶養手当	扶養親族(配偶者、22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子、60歳以上の父母など)のいる職員に支給	配偶者	13,000円	同	
			子など	6,500円		
			16～22歳の子1人につき	5,000円加算		
	住居手当	住居を借り受け、または所有している職員に支給	借り受け	27,000円まで	異	
			所有	2,500円		
	通勤手当	通勤距離が2km以上で、バスなどを利用している職員に支給	バスなど	6カ月定期券などの価額	異	
自家用車			距離に応じ2,300～40,000円			

⑧ 特別職の給与等の状況

知事などの特別職の給与などについては、県内各界の代表者などで構成する「沖縄県特別職議員報酬等審議会」の答申を受けて、条例で定められています。

給料月額及び議員報酬			期末手当の支給割合	
知事	1,116,000円	6月期	1.45月分	
副知事	911,400円			
議長	990,000円	12月期	1.65月分	
副議長	850,000円			
議員	760,000円	計	3.1月分	

※知事、副知事の給料月額は特例減額措置を受けた後の額です。

⑨ 特例的な措置(平成22年12月現在)

本県の厳しい財政状況を踏まえ、給料月額について、知事10%、副知事7%、公営企業の管理者・病院事業の管理者5%、特別職の秘書・教育長・大学の学長・一般職の職員3%の減額措置を行っています。

また併せて、知事・副知事・公営企業の管理者・病院事業の管理者・常勤の監査委員・教育長・大学の学長の期末手当および一般職の管理職員の管理職手当を15%、特別職の秘書の期末手当および一般職の職員の期末勤勉手当を2%の減額措置も行っています。

詳しい内容は、県公報や人事課ホームページで、ご覧になれます。

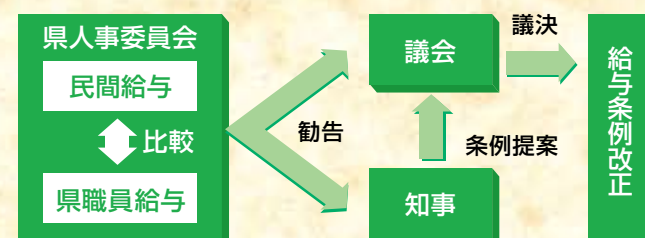
お問い合わせ ● 県人事課 TEL:098-866-2090 FAX:098-866-2033

県職員の給与の状況

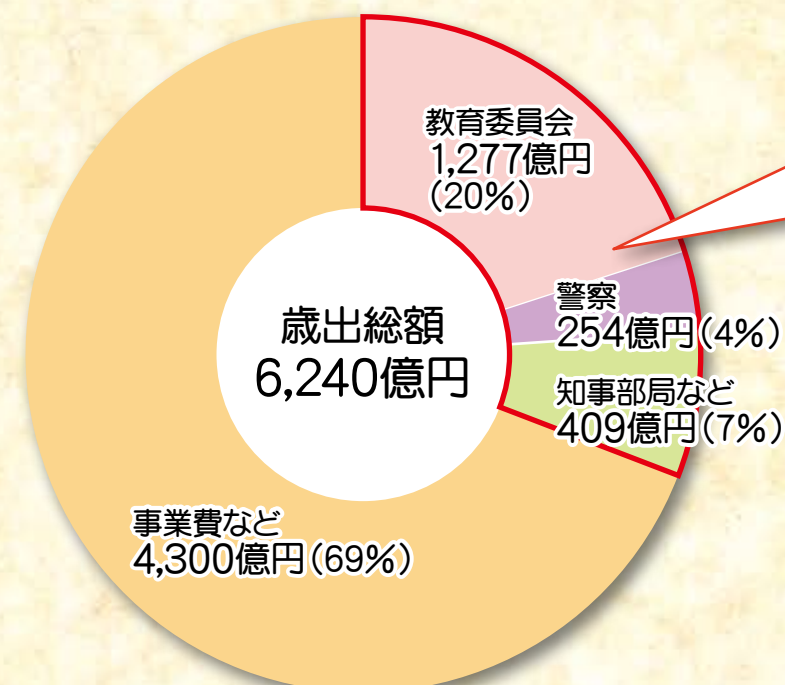
県では、福祉、教育、商工、土木、農林水産、警察など県民生活に係わる仕事を行っており、これに携わる職員が約23,000人(公営企業事業の職員を含む)います。

① 給与決定の仕組み

県人事委員会は、毎年、県内の企業規模50人以上の民間企業などの給与実態を調査して、県職員の給与について勧告を行っています。
この勧告に基づき、県議会の審議を経て、条例により給与が決定されています。



② 人件費の状況(平成21年度普通会計決算)



人件費 1,940億円(31.1%)

(前年度の人件比率 33.4%)

特別職報酬など……32億円
給料……906億円
期末・勤勉手当……328億円
職員手当……176億円
退職手当……206億円
共済負担金……268億円
その他……24億円

③ 職員数の状況(部門別職員数の状況)

(平成21年4月1日現在)

部門	平成21年度		
	平成20年度	職員数	対前年増減
一般行政部門	4,164人	4,051人	△ 113
教育関係	13,474人	13,380人	△ 94
警察関係	2,855人	2,856人	1
小計	20,493人	20,287人	△ 206
病院事業	2,261人	2,281人	20
水道事業	274人	274人	0
下水道事業ほか	116人	108人	△ 8
小計	2,651人	2,663人	12
合計	23,144人	22,950人	△ 194

※職員数は、一般職に属する職員数で地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時または非常勤職員を除いています。

⑤ 職員の初任給の状況

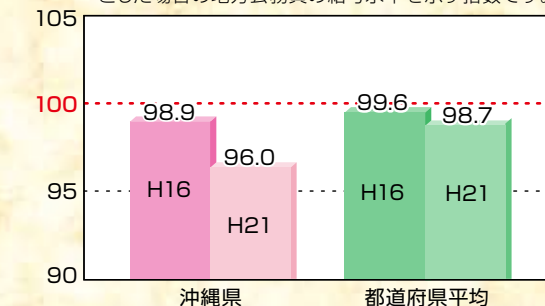
(平成22年4月1日現在)

区分	県	国
一般行政職	大学卒 167,034円	172,200円 Ⅱ種
	高校卒 135,897円	140,100円 Ⅲ種
現業職	高校卒 133,084円	—
	中卒 125,324円	—
高等学校教育職	大学卒 187,016円	—
	短大卒 161,311円	—
小・中学校教育職	大学卒 187,016円	—
	短大卒 163,542円	—
警察職	大学卒 181,875円	187,500円 Ⅲ種
	高校卒 153,357円	158,100円 Ⅲ種

※県の初任給は特例減額措置を受けた後の額です。

④ ラスパイレス指数の状況

ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。





第五回沖縄平和賞

平和を希求する「沖縄のこころ」を世界へ発信！

「沖縄平和賞」は、沖縄と地理的・歴史的に関わりの深いアジア太平洋地域で、平和の構築・維持に貢献した個人・団体を顕彰し、恒久平和の創造をめざす取り組みとして平成十三年に創設され、二年に一回贈賞を行っています。

第五回沖縄平和賞は、「特定非営利活動法人シェアⅡ国際保健協力市民の会」へ贈られました。「シェア」は、「Health for All!」（すべての人に健康を）をめざして、アジア・アフリカおよび日本国内で活動している保健医療NGOです。



右から、沢田副代表理事、本田代表理事、仲井眞知事、尚沖縄平和賞選考委員会副委員長

第五回沖縄平和賞授賞式

平成二十二年十月十五日、名護市の万国津梁館で「第五回沖縄平和賞授賞式」が開催され、外務省樽井沖縄担当大使をはじめ、県内外からの約二百人の出席者が見守る中、第五回沖縄平和賞が特定非営利活動法人シェアⅡ国際保健協力市民の会へ贈られました。

主催者を代表して沖縄平和賞委員会会長の仲井眞知事は「沖縄県は、この賞を通して、平和を希求する『沖縄のこころ』を世界に発信するとともに、平和の構築・維持に貢献する活動を支援し、アジア太平洋地域の平和交流拠点になることをめざしています」とあいさつしました。

続いて、尚沖縄平和賞選考委員会副委員長から「プライマリ・ヘルス・ケアの理念に基づき、地域の人々と協力し、人づくりと自発的な助け合いによる健康づくりをめざす『シェア』の活動は、人間の生命や基本的人権を尊重して豊かに生活できる社会の実現に貢献し、人間の安全保障を推進するもの

加校を代表して、大北小学校の児童から折り鶴の贈呈が行われ、平和を願う沖縄のこころは次世代を担う児童・生徒にも着実に受け継がれていることを再確認しました。

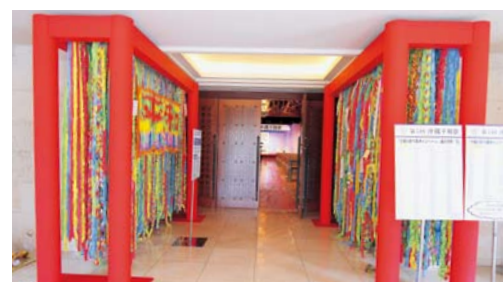
また、授賞式終了後に行われた受賞者記念講演では、「いのちと健康の窮みでがんばる人びとを支え続けること」沖縄平和賞への感謝を噛み締めて」と題して、本田代表理事からシェアの歩んだ二十七年の道のりと現在の取り組みが紹介されました。

「シェア」はこんな団体です

シェアⅡ国際保健協力市民の会は、一九八三年に市民により国際医療協力をめざす医療関係者、学生などにより設立されました。設立当初から一貫して、保健医療分野に絞った活動を行い、アジア・アフリカを中心に、地域保健活動、エイズ予防啓発、HIV陽性者支援活動など「プライマリ・ヘルス・ケア」のアプローチに基づいた活動を行っています。

また、日本国内においても、医療にアクセス困難な外国人のための支援に取り組んでおり、国内外での活動を通じて、すべての人が心身ともに健康に暮らせる社会の実現をめざしています。

「プライマリ・ヘルス・ケア」とは
健康であることを基本的な人権として認め、すべての人が健康を獲得すること。そのために地域住民を主体として、人々の最も重要な保健・医療ニーズに応える問題を住民自らの力で総合的にかつ平等的に解決していくアプローチです。



授賞式会場入口に展示された折り鶴

平成二十二年五月から九月までの間、県内小中学校の児童生徒を中心に、第五回沖縄平和賞授賞式に向け「平和の折り鶴キャンペーン」を実施し、平和のメッセージを入れた折り鶴を作成していただきました。

折り鶴は、当初

平和の折り鶴キャンペーン



給食センターに並ぶ子どもたち（南アフリカ）



乳幼児健診活動（カンボジア）



保健教育・乳幼児健診研修（東ティモール）



在日外国人医療相談（日本）



子どもグループ活動（タイ）



「沖縄平和賞支援募金」へご協力お願いします

沖縄平和賞の賞金は、県民の皆さまからの支援募金で支えられています。

これまでに皆さまからいただいたご寄付は、第一回受賞団体「ベシヤール会」のアフガニスタンでの「オキナワ・ピース・クリニック」の建設、第二回受賞団体「アムダ」のスマトラ島沖地震緊急支援活動、第三回受賞団体「沖縄・ラオス国境口蓋裂患者支援センター」のラオスでの手術施設建設、第四回受賞団体「難民を助ける会」のミャンマーでのサイクロン被災地域支援活動などに活用されました。今回の受賞団体「シェア」は、タイや東ティモールでの新しい取り組みへの活用を計画しています。

今後とも、県民の皆さまからの温かいご支援、ご協力をよろしくお願いします。

「沖縄平和賞支援募金」への募金の方法

■郵便振替

加入者名 沖縄平和賞委員会 口座番号 01750-1-61696

*振込手数料は、かかりません。

■金融機関

名義人（受取人） 沖縄平和賞委員会 会長 仲井眞弘多

○琉球銀行県庁出張所

普通預金 155-866

○沖縄銀行県庁出張所

普通預金 1255242

○沖縄海邦銀行県庁内出張所

普通預金 0-063-488

○沖縄県農業協同組合本店

普通預金 0012172

*誠に恐縮ですが、振込手数料については、募金者でご負担くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ ●県平和・男女共同参画課 TEL:098-866-2500 FAX:098-866-2589

あなたの熱意を応援します！

就職・生活支援 パーソナル・サポート・センター

県では、長期失業などによりさまざまな生活上の困難に直面する方を支援するため、「就職・生活支援パーソナル・サポート・センター」を設置しています。同センターでは、生活から就職まで幅広くサポートしていますので、お気軽にご相談ください。

- ◆相談無料
- ◆開所日：毎週月曜日～金曜日
- ◆場所：那覇市泉崎2-3-8(1F)
- ◇問合せ先：(財)沖縄県労働者福祉基金協会 ☎098-851-8037

県内・県外就職面接会

新規高卒者・大卒者等の就職の促進を図ることを目的として、県内・県外企業と新規学卒者を招いて、就職面接会を開催します。詳細は沖縄労働局および雇用労政課ホームページにて掲載いたしますので、今春卒業予定の高校生・大学生の皆さまおよびその保護者の皆さまは、ぜひご確認ください。

- ◆開催日時：2月1日(火)午後0時45分～午後4時半
- ◆開催場所：沖縄コンベンションセンター(展示場)
- ◇問合せ先：沖縄労働局職業安定課 ☎098-868-1655

子育てママの就職支援講座

子育てなどの理由でスキルアップの機会が少ない女性の就職を支援するため、託児所付きのコールセンター対応型の就職講座を実施します。早期に就職を希望する県内在住の女性で、全日程受講できる方が対象になります。

- ◆受講料：無料
- ◆講座期間：1月31日～3月3日(平日23日間)
- ◆講座会場：エンパクト研修センター(那覇市西)
- ◆募集締切：1月21日まで
- ◇問合せ先：(財)雇用開発推進機構エンパクト研修センター ☎098-860-7259

一日の タイムスケジュール

8:00 出勤・メールチェックなど
8:40 朝礼
9:00～18:00 プロジェクトミーティング後、お客さまとの連絡や打ち合わせ、システム設計・開発、プログラミング作業など(途中、昼食休憩)
18:30 退社

優秀なチームを作り、協力しながらいい仕事をするのが喜び。いつか専門の部署を立ち上げて実績を出し、会社にさらに貢献するのが夢です。

仕事のツボ アドバイス

プログラミングは製造業。ものづくりが好きで、作ったものが動く喜びを感じられる人が向いています。SEなら基本情報処理試験は必須。応用技術者試験は持っている強みに。理系分野でも、メールや文章作成などの表現能力を鍛えよう！



一日の タイムスケジュール

7:45 建設現場に出勤
8:00 電気・通信・土木関係の担当者とミーティング
～17:00 建設作業現場の見回り、工事進行の確認、安全チェックなど(途中、昼食休憩)
17:00 帰社後、日報・工事進捗状況の確認、翌日の準備など
20:30 退社

を毎日徹底。昇塔訓練も行います。基地局の保守管理、故障時の修理も大切な業務。台風時は、暴風で停電がないか巡視点検を欠かしません。携帯電話は、今や電気や水道と同じライフライン。責任は重いですが、社会で必要とされる役割を担うことに誇りを感じます。今後も努力を重ね、〇〇パーセント満足できる完璧な仕事をめざします。

仕事のツボ アドバイス

電気工事士や電気工事施工管理技士の資格があると有利。安全管理で必要な重機関係の技術や知識、通信や携帯の知識などは社外研修で地道に勉強します。仕事はチャンス。働くことに感謝し、ひとつの世界で粘り強くがんばろう！



県 内外を飛び回る 多忙な仕事

小学生の頃から父のノートパソコンをおもちゃ代わりに遊び、この分野に興味を持ちました。大学在学中にSEをめざすことと決意。現在、ブリッジSEという業務を担当。これは、東京や大阪など県外のお客さまの要望を社に持ち帰り、最適なシステムの設計・開発を行うもので、社内外のスタッフで構成する四、二十人程度のプロジェクトチームで作業を進行。システム設計が中心ですが、出張も多く、時にはテレビ会議も行います。

最 上の仕事をめざして 選抜チームで協力

お客さまが本心に求めているもの

システムエンジニア (SE)



株式会社リウコム
システムソリューション部 システムエンジニア
なかまつ たけとし
仲桒 剛敏さん(勤続4年目・31歳)

通信工事技術者



株式会社沖電工
設備部 情報通信課
まさし
稲嶺 優志さん(勤続8年目・31歳)

学 生の頃からの夢だった 通信の仕事

置職人の父の影響で、手に職をつけたいと沖縄能力開発大学校へ進学。電子技術科の通信の勉強が楽しく、今の会社へ応募しました。入社後一年間は、グループ企業の沖縄電力で通信の仕事の基礎を習得。現在は、携帯電話の基地局の建設を担当。現場代理人として、通信会社・電気工事・土木工事の担当者をまとめ、安全を守りながら作業を進行します。

社 会的役割に大きな誇り

基地局のアンテナは鉄塔の上につけるため、全員が無事に作業を行えるよう命綱のロープ点検や安全確認

IT・通信に携わるシゴト

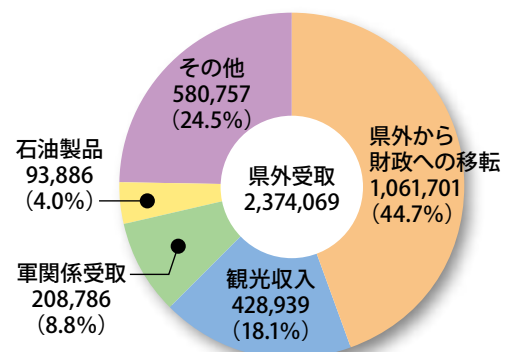
システムエンジニアと 通信工事技術者

今回はITや電気などの専門技術を駆使して現場をまとめる二人。徹底したプロ意識で仕事に向き合っていました。

その他の『IT・通信に携わるシゴト』
・無線技術士
・パソコンインストラクター
・サポートエンジニアなど

仕事や職場を決めた理由、やりがいやターニングポイントなど、同じジャンルで職種が違う二人の先輩が仕事の本音を語ります。みんな迷って悩んで今がある！就活世代に役立つヒントがいっぱい！

県外受取の構成(平成19年度)(単位:百万円)



MICE
Meeting
Incentive
Convention
Exhibition event
(企業の役員会、セミナーなど)
(企業が行う褒賞旅行など)
(国際会議、学会、大会など)
(展示会、スポーツイベントなど)

観光は重要な産業
平成二十一年度に沖縄を訪れた観光客がホテルや土産品店などで使ったお金(観光収入)は約三千八百億円で、県外から沖縄にもたらされたお金(県外受取)のうち約十八%(平成十九年度)を占めており、観光の動向は沖縄経済に大きな影響を与えます。
県では、沖縄観光の質の向上を図ることにより付加価値の高い旅行を促進することにより、その一環として「MICE(マイス)」誘致を推進しています。

**沖縄MICEって何ですか？
〜沖縄観光の新たな取り組み〜**
沖縄県の観光産業は順調に推移し、県経済においても大きな役割を担っています。県では観光の更なる発展のために「MICE」誘致に向けたさまざまな取り組みを行っています。



MICE(マイス)って何？

「MICE」。聞き慣れない言葉かも知れませんが、ご存じでしょうか？ MICEとは、Meeting、Incentive、Travel、Convention、Exhibition/Eventの頭文字を綴った言葉で、これらの市場や産業を表現しています(図表参照)。

MICEの対象は広く、二〇〇〇年の九州・沖縄サミット首脳会合や昨年十月に開催されたAPECのよう、な政府主催の国際会議などはもちろん、各種学会が主催する学術会議もMICEです。また、生命保険や製薬会社などによるインセンティブツアードもMICEで、自動車、展示会や琉球ゴルフ球団の試合もMICEといえます。県ではこれらのうち、観光客を多く呼ぶことができる分野を重点的に誘致しています。

沖縄MICEプロジェクト
沖縄MICEプロジェクトは、沖縄のMICE最新情報を集めた展示会「MICEコンテント」を、MICEコンテントと、沖縄型インセンティブパーティを体験する「MICEナイト」の二つのイベントで、

沖縄観光の発展のために

県は、今後も沖縄観光のさらなる発展をめざしてMICE誘致に引き続き取り組み、MICEアイランドへ飛躍したいと考えています。県民の皆さまも、「沖縄MICE」にご注目ください。



沖縄MICEの可能性

沖縄は豊かな自然、独特の歴史、文化などの財産があり、MICEの開催場所として大変評判が良く、今後も大きな可能性がります。そのため、県は多くのMICEを誘致するため、さまざまな取り組みを行っています。例えば、国内外での誘致セミナーの開催、関係者の沖縄視察、MICE開催時の支援実施などのほか、昨年から「沖縄MICEプロジェクト」を開催して、「沖縄MICE」を強くアピールしています。



何故MICEに力を入れるの？

本年度は平成二十二年九月に沖縄県内で開催されました。「トレードショー」は、沖縄コンベンションセンターで開催され、県内四十一団体のMICE関連企業などがブース出展し、各社工夫を凝らしてMICE商品を紹介したほか、県外から参加のバイヤーとの商談も行われました。このほか、メインステージでは特別講演、沖縄芸能の紹介やプレゼンテーションなどが行われました。会場内は沖縄MICE一色に染まり、出展者、バイヤーのほか、県内企業、学校関係者、学生などが訪れてにぎわいました。また、「MICEナイト」は、インセンティブツアードにおけるテーマパーティを再現するもので、G8サミットの会場となった万国津梁館で開催され、沖縄型MICEの体験プレゼンテーションを行いました。

**☆新企画☆
地産地消B級グルメ**
「地産地消」をテーマに、地元食材を活用した気軽に食べられる創作B級グルメを紹介します。

花と食のフェスティバル
おきなわ花と食のフェスティバルでは、新鮮で良質な沖縄の農林水産物や加工食品などを県民はじめ県外から訪れる観光客に広く紹介することにより、消費拡大、地産地消の推進を図っています。
沖縄は美しい花やおいしい食材の宝庫です。会場では県産農林水産物を見て、食べて、体験して、その良さを再発見できるイベントを今年も多数用意しています。健康的で豊かな生活を楽しむために、ぜひ会場へ足をお運びください。

地産地消とは
地産地消とは、「地域で生産されたものを地域で消費すること」を意味しています。
近年、消費者の食に対する安全・安心志向の高まりや農林水産物の販売形態の多様化が進む中で、生産者と消費者を結び付ける「地産地消」への期待が高まっています。



見て!
園芸フェア(武道館)
・花き・野菜・果樹品評会
・フラワーデザインコンテスト
・いけ花・おし花体験教室
市町村コーナー
・ご当地食材(野菜、加工品)や料理、民芸に関する展示・試食・販売
アトラクション
・郷土の伝統芸能
・琉神マブヤーショー
まだまだたくさんイベントがあるよ〜!

食べて!
こだわりシェフのクッキングプラザ
・県産食材料理の紹介・調理体験・試食
JAコーナー
・ファーマーズマーケットを中心とした県産農産物などの試食・販売
まーさん市場
・県産畜産物(牛・豚・鶏・卵)、加工品の試食・展示・即売
海鮮市場
・水産加工品の試食・販売
地産地消うまんちゅ鍋
・地産地消鍋料理の提供

体験して!
ふれあい牧場
・家畜とのふれあい、搾乳体験、乗馬体験
まちと村の交流体験バスツアー
・海・畑・食の体験バスツアー、農作物収穫体験、農作物料理体験
山の市
・木工・どんぐりクラフト教室
・県産きのこの試食・販売
サーターヤー
・黒糖づくり実演・試食・販売

※内容は都合により変更になる場合があります。

お問い合わせ ●県観光振興課 TEL:098-866-2764 FAX:098-866-2765 E-mail:aa057137@pref.okinawa.lg.jp

お問い合わせ ●県流通政策課 TEL:098-866-2255 FAX:098-862-7519

各施設行事予定表

県立博物館・美術館

☆休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）
1月1日（土）～3日（月）は臨時開館、
1月4日（火）は休館します。

☎098-941-8200

◆バックヤードツアー

開催日：1月15日（土）
美術館：午前11時～正午
博物館：午後2時～3時
定員：先着各12人（受付午前9時～）
参加費：無料

博物館

◆企画展「アイヌ～美を求める心～」

期 間：1月10日（月）まで
入場料：一般300円、高校生・大学生200円、
小・中学生100円

◆企画展

「琉球陶器の来た道」
期 間：1月22日（土）～3月6日（日）
入場料：一般500円、高校生・大学生300円、
小・中学生200円

美術館

◆企画展「安谷屋正義」展

期 間：1月19日（火）～3月13日（日）
入場料：一般800円、高校生・大学生500円、
小・中学生300円

◆美術館コレクション展

（ギャラリー1）メコン4525kmの光彩―管洋志写真展
（ギャラリー2）大和コレクション展Ⅱ
（ギャラリー3）沖縄の色彩―沖縄美術の流れvol.3
期 間：1月29日（土）～5月8日（日）
入場料：大人300円、高校生・大学生200円、
小・中学生100円

※「比嘉康雄」展は1月10日（月）まで
期間延長となりました。

情報 ひろば

2011年1月

イベント

支援県民ゴルフ大会

台風14号の影響により延期となつていた日本オーブンゴルフ選手権競技「沖縄開催支援県民ゴルフ大会」を開催します。

●日時 1月14日（金）午前7時14分～
●場所 那覇ゴルフ倶楽部
●競技方法 ダブルベリア方式
●プレイフィー 12,000円
●問合せ 沖縄開催実行委員会事務局
☎098-8559-6130

アデクションフォーラム

お酒や薬物、ギャンブルなどの依存症の知識と理解を深めるフォーラムを開催します。

●日時 1月16日（日）午後1時～5時半
●場所 県総合福祉センター
●内容 ①自助グループの体験談発表
②講演 講師・西川京子氏
③モデルミーティング
●備考 参加費無料
●問合せ 県立総合精神保健福祉センター
☎098-888-1443

毎月勤労統計調査

1月から毎月勤労統計調査第二種事業所の新たな調査区での調査が始まります。調査対象事業所には、県知事任命の統計調査員がお伺いします。ので、調査へのご理解・ご回答をお願いします。

●問合せ 県統計課
☎098-866-2050

おきなわ県政出前講座

●講座のテーマ 13分野68テーマ
●対象 概ね20人以上の集会（営利、宗教、政治活動を目的とするもの、苦情陳情を目的とするものは除く）
●実施日時（年末年始・祝日除く）
平日 午前10時～午後8時
土日 午前10時～午後5時
●問合せ 県広報課
☎098-866-2020

1月 JANUARY

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2月 FEBRUARY

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

防災気象講演会

●日時 1月18日（火）午後1時半～4時半
●場所 県庁4階講堂
●テーマ 沖縄県内の地域防災力の向上をめざして
●定員 300人（入場無料・要申込み）
●問合せ 沖縄気象台業務課
☎098-8333-4283

沖縄ロゲイニング名護大会

●開催日 2月5日（土）・6日（日）
●場所 名護市地域
●定員 150組
●募集締切 1月21日（金）
●問合せ NPOホールアース研究所沖縄事務所
☎0980-58-3536

試験

自治医科大学入学試験

●第1次試験日 1月24日（月）25日（火）
●場所 サザンプラザ海邦（那覇市）
●第2次試験日 2月3日（木）
●場所 自治医科大学（栃木県）
●受験資格 高等学校を卒業した者および平成23年3月卒業見込みの者またはこれと同等以上の学力があると認められる者

募集

沖縄県工芸公募展作品募集

●応募作品 伝統的な技術・技法に優れた斬新なデザイン、機能美を有した工芸品（1人2点以内、セットものは1点）
●応募資格 県内在住者または県内事業所
●応募条件 県内で製造・加工される工芸品で、製造過程の主要部分が手作業であり、主として日常生活の用に供されるもの
●応募締切 1月14日（金）午後5時
●問合せ 県商工振興課
☎098-866-2337

技術講習・経理事務

●対象者 概ね40歳までのパソコン操作が可能な就職を希望する女性
●期 間 1月26日～2月17日
（月）金 午前9時～午後3時
●場所 沖縄市ITワークプラザ
●申込み 1月13日・14日（来所申込み）
●定員 20人（後日筆記・面接あり）
●受講料 無料（教材費等自己負担あり）
●問合せ 県労政・女性就業センター
☎098-8663-1788

●期 間 2月10日（木）～13日（日）
●場所 沖縄県兵庫県友愛キャンプ

●出願期間 1月4日（火）～18日（火）
●※郵送の場合、1月17日消印有効
●問合せ 県医務課
☎098-866-2169

沖縄県准看護師試験

●試験日 2月18日（金）
●場所 県立看護大学
●願書受付 1月4日（火）～11日（火）
●※郵送の場合、1月11日消印有効
●問合せ 県医務課
☎098-866-2169

土地取引届出制度について

大規模な土地取引を行った場合、契約を結んだ日を含めて2週間以内にその土地の所在する市町村へ届出が必要で、市街化区域：2,000㎡以上市街化区域を除く都市計画区域：5,000㎡以上都市計画区域外：10,000㎡以上
●問合せ 県土地対策課
☎098-866-2040

労働相談

労使間のトラブルで悩んでいる方などを対象に労働相談を行っています。相談は無料で、秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。
●相談時間 平日午前9時～午後5時
●相談窓口 県労政・女性就業センター
☎0120-610-223
●問合せ 県労政・女性就業センター
☎098-941-4750

中小企業のための融資制度

県では、中小企業の資金繰りを支援するため、長期・固定・低利の沖縄県融資制度を創設しています。融資は、目的に応じて短期運転資金、小規模企業対策資金など14資金を提供しています。融資の対象は、資金毎に要件が定められていますので詳細は当課ホームページでご確認ください。

●問合せ 県経営金融課
☎098-866-2343

モデルサロン

県では、世界水準の沖縄スパブランドを構築するため、認証基準の策定や認証制度の創設に向け、モデルサロンにて検証事業を実施しています。
●モデルサロン SPA UMIKI
●場所 ユイッチホテル南城
☎080-2692-0741
（完全予約制）
●問合せ 県新産業振興課
☎098-866-2340

お知らせ

●場所 兵庫県立宍戸野高原野外教育センター・神戸市
●内容 スキー体験や野外活動研修などの交流会
●参加対象 18歳～35歳（高校生を除く）
●参加費用 45,000円
●応募締切 1月14日（金）
●問合せ 県教育庁保健体育課
☎098-866-2726

医師・歯科医師・薬剤師の届出

医師、歯科医師および薬剤師は業務従事者の如何にかかわらず届出を行う義務があります。届出は厚生労働行政の大切な基礎資料となります。調査にご協力をお願いします。

●届出期限 1月17日（月）
●届出先 管轄内保健所
●問合せ 県福祉保健企画課
☎098-866-2164

補装具支給の研修会

●日時 1月29日（土）午後2時～5時
●場所 県総合福祉センター
●対象 医師、理学療法士、作業療法士、義肢装具士、ケースワーカーなど
●問合せ 県身体障害者更生相談所
☎098-886-2115

合同就職説明会・面接会

●日時・場所
1月15日（土）午後1時半～5時
嘉手納町中央公民館
1月21日（金）午後1時半～5時
沖縄市民会館
1月29日（土）午後1時半～5時
与那原町社会福祉センター
●備考 参加費無料・入退場自由
●問合せ マッチポイント（事務局）
☎098-861-2773

県広報課からのお知らせ



1月 放送予定

8日・9日 小さな赤ちゃんを救え!!
15日・16日 就活について
22日・23日 明日をつかもうあなたの技術で
29日・30日 おきなわ花と食のフェスティバル2011

テレビ放送時間 RBC 6:15 QAB 25:55 OTV 6:45

詳しくは沖縄県ホームページへ <http://www.pref.okinawa.jp/> トップページ▶広報・広聴について▶広報誌、テレビ番組等

県広報課 〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 kouhou@pref.okinawa.lg.jp

ラジオ県民室

お昼のひととき、県が実施する行事や募集のお知らせなどを行っています。

放送時間／毎週月曜日～金曜日

ラジオ 沖縄 (864kHz) 11:50～11:55
RBCラジオ (738kHz) 11:55～12:00
F M 沖縄 (87.3MHz) 12:55～13:00

ご意見・ご提言 県政に対するご意見・ご提言をEメール、FAX、手紙などで募集しています。
あて先 県民ご意見箱、知事へのたより
※記入様式などは、ホームページをご覧ください。



結いの島のシマおこし



「夜なべ談義」では、活発な意見交換が行われた



辺土名忠志さん



通り池などの豊かな自然を上手に活用していく方法を模索



民泊受け入れて地域をもっと元気に！

松原敬子さん



交流会で若い世代の団結が深まりました

伊良部商工会青年部のメンバー、後列左から2人目が渡久山研吾さん

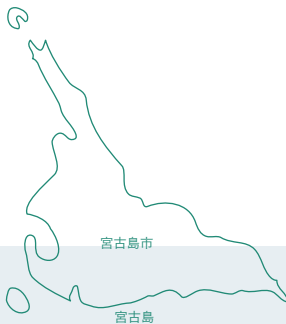


地域のやる気を引き出すのが行政の仕事

平山茂治さん



無形文化材のパーントゥ



結いの島のシマおこし(宮古島市)

人と人をつなぎ、地域に「気づき」をおこす
公民一体で取り組む「結いの島のシマおこし」

つながる広がる 人・モノ・文化 地域物語

地域自らが気づき行動する
「シマおこし」へ

平成十七年の合併当初から地域活性化に取り組み、平成二十年度より本格的に動き出した宮古島市では、「行政も地域も具体策が分からず手探り状態だった」と話す同市企画政策部企画調整課地域振興係の平山茂治(しんじ)調整官。少子高齢化による人口減少や離島の過疎化などの問題がある中、「自分の住む地域がなくなる可能性があることを島民一人ひとりが認識し、自分の地域は自ら守り、元気にする」という意識が必要でした」と語ります。

各地区の特色ある魅力を
地域資源に生かせ

まずは行政がその道筋を立てようと、昨年九月に「宮古島市ソーシャルビジネス講座」を企画・実施。宮古のシマおこしのヒントを学びました。行政関係者や地域づくりに関心のある方、約六十人が参加した講座では、本島・離島の成功事例から着眼点や人材・予算の工夫を学び、活発に意見を交換。「すべてが目からウロコで、活動が盛んな地域には必ずキーパーソンがいると実感」。地域のために何かしなければ「と考える人が

ければ」と感じたそう。

平成二十五年に伊良部大橋が開通予定の伊良部地区。研修交流会への参加で若い世代の意識が変化。伊良部島で若者が活躍できる場づくりを模索中です。商工会青年部部長の渡久山研吾さんは、「参加者の伊計大橋開通の体験談が参考になった。若い世代が中心となり、開通の好機を観光客誘致や多くのメリットにつなげるよう考えなければ」と前向きです。

行政と民間、地域が
しっかり手をつないで

宮古島には古くから伝わる伝統行事や自然・特産物など、各地域に魅力的な地域資源が数多くあります。今後はそれをどう生かすかが課題。「どこどこをつなげ、誰と誰をつなげるか。行政ができるのは未来のための種まき。行政が造った道筋を地域やNPO、民間が引き継ぎ、地域に元気を生み出してほしい」と平山さん。今回の取り組みで若手職員が変化をきつかけも発見。「人を動かすのは体験と感動。今年度中にもう一度講演会と研修会を実現したい」と十年先、二十年先の宮古島を見据え、シマおこしに燃えていました。

お問い合わせ
宮古島市企画政策部地域振興係
電話：0980-723751

多いことも収穫でした。

平山さんの呼びかけで地域のリーダーらがつながり、昨年十一月にはコミュニティビジネスによる地域おこしを学ぶ「シマおこし研修交流会IN宮古島」を開催。有識者による基調講演や事例報告、宮古城辺・島尻・伊良部地区の特色を生かした分科会の活動報告を行いました。

互いに刺激を受ける
地区のリーダーたち

城辺地区では、「さるかの会」が修学旅行生を民泊で受け入れ。事務局長の松原敬子さんは、研修交流会を通して平山さんや他地区メンバーと活動し、「みんなの情熱、地域を巻き込む戦略や横のつながりの大切さを学んだ」と刺激を受けた様子。地域の成り立ちや昔からのウタキのことも学び、城辺地区の財産の掘り起こしができました。

島尻地区自治会の辺土名忠志さんは、無形文化財のパーントゥを生かした活動に長年参加。パーントゥの里巡りコースの整備、ツアーガイドを養成する中で、地区の小学生の激減や住民の高齢化、自治会の財政難などに直面。地域を何とか元気にしたいと研修交流会に参加し、宮古全体のことを考えて行動する松原さんを見て、「もっと視野を大きく持たな

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年も皆さまにとって素晴らしい1年でありますようお祈りいたします。本年も引き続き「美ら島沖縄」をご愛読いただきますようよろしくお願いいたします。(うさぎ/かめ)

毎年、年越しは実家で両親の宝くじチェックを担当する私。1等が当たったら家族で山分けすると豪語する父の宝くじは一向に当たらず。今年はどうなるか楽しみです。(momo)

沖縄県広報誌
平成23年1月1日発行第35巻1号通巻424号

美ら島沖縄

●表紙 写真・島袋常貴
●表紙 撮影協力・那覇市リサイクルプラザ4階、アースの会

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
TEL.098-866-2020

アンケート

「美ら島沖縄」の感想をお聞かせください。

パソコンはこちら

<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>



沖縄国際アジア音楽祭
平成23年3月18日～20日開催！



沖縄国際アジア音楽祭
平成23年3月18日～20日開催！